

建築の業務と表現に寄り添うA1大判プリンター



HP
DesignJet
T870 A1モデル
日本HP

写真 = 鈴木信之介

4 全4色顔料インクで 画質・耐久性に優れる

全色顔料インクを採用。染料インクに比べてにじみが少なく、耐久性にも優れるため、現場に持ち込む実施図面の印刷に最適だ。微細な線や文字がにじまず、雨天時の搬送でも劣化しにくい。また発色がよいので、多色印刷（5色以上）の専用機を別途用意しなくても、写真を含むプレゼン資料やポスターを事務所内で高品質に出力できる。顔料インク特有のインク詰まりも起きにくく、運用ストレスを軽減。さらに大容量カートリッジにより、交換頻度を減らせる。



大容量カートリッジ。(130または300mlを選択可) 効率的なプリントヘッドメンテナンスにより、メンテナンス時の廃インク量を最大95%削減

2 ミスもムダも侵入リスクも防ぐ。 安心の印刷環境

サイズ設定や用紙方向のミスは、建築実務で最も起こりやすい印刷トラブルの1つ。「HP DesignJet T870」では、専用ソフト「HP Click」でデータをドラッグ&ドロップするだけで、用紙設定の整合性を瞬時に可視化し、誤ったサイズや方向での出力を防ぐ。ミスが減ることで、インクや紙のムダも抑えられる。また、PCメーカーとしての高いセキュリティ技術を備え、プリンター経由で設計データが侵害されるリスクを低減。安心して業務に集中できる環境を実現する。



用紙設定の誤りや印刷ミスによる出力のやり直しを抑制。図面を意図したスケールおよび理にかなった紙面サイズで印刷できるのが心強い（写真は平面図をA2サイズで自動出力している様子）

5 “水平・垂直”を意識した 設計者好みのデザイン

設計者は建築だけでなく、身の回りのプロダクトにも強いこだわりをもち、特に“水平・垂直”という建築の基本要素を常に意識するもの。一般的な大判プリンターは丸みを帯びた野暮ったい造形が多いが、「HP DesignJet T870」は直線を基調とした明快なプロポーションを採用し、表面の艶も適度に抑えられている。バルセロナ生まれの端正なデザインは、黒を好む人が多い設計者の美意識にも自然となじむ。事務所に置くだけで、デザイナーとして真摯に仕事に向き合う姿勢を静かに物語る1台。



ノイズレスで建築的なプロポーション。艶を抑えたブラックの筐体は、仕事場に自然に溶け込み、空間の質感を損なわない

3 図面・パース・写真の描写を 正確に表現

業界最先端のレンダリングプラットフォーム「Adobe PDF Print Engine」を搭載し、実施図面上の実線と見えがかり線の太さや濃淡を正確に再現する。複雑な線情報も崩れず、意図した線幅がそのまま紙上に印刷されるため、施工段階での誤解も生じにくい。また、PDFに加え、主要なCADデータや画像形式など多様な拡張子に安定して対応し、形式変換による表示崩れを防ぐ。さらにパースや写真で求められる微妙な色味や質感、透過効果も忠実に再現し、設計者が描く空間イメージを正確に伝える出力が可能になる。



3Dレンダリングの微細な色調も忠実に表現。設計意図と世界観をそのままクライアントに伝えられる高精細なプリント

1 A4～A1までのサイズを 素早く & 自動で印刷

A1の大判図面はロール紙、A4の書類はカット紙と、用紙の種類が異なるため、本来は複数のプリンターを使い分ける必要がある。「HP DesignJet T870」は、これらの切り替えを自動化し、「HP Click」は最適な用紙を自動で選択。1台で完結するため、省スペース化にも貢献する。印刷するたびにプリンターの前で設定を変える必要がなく、実施図面などをA1で大量出力する際も高速でストレスを感じない運用が可能だ。

大量に印刷することが多い実施図や施工図、竣工図を、用紙を自動で切り替えながら高速に印刷できる（A1の印刷は最速約21秒^[※]）。社内での情報共有や施工者との意思疎通のストレスが軽減できる



「建築DX」という言葉が浸透し、業務や表現のデジタル化が進む一方、紙に印刷する、という行為は依然として設計者の仕事のクオリティに直結する重要な工程である。そのニーズに応えるのが、2025年10月に発売された「HP DesignJet T870」。A4図面からA1パースまで、無料の印刷ソフト「HP Click」を使うだけで自動的に用紙を切り替え、最適レイアウトで出力できる^[1]。設計の現場で生じがちな印刷設定の手間や、縮尺・余白のミスを抑え、誰が扱っても同じ品質で仕上がる安定性を備える。「HP Click」によるドラッグ&ドロップ操作は印刷作業

をシンプルにし、ワークフロー全体を効率化する。セキュリティも高い^[2]。図面やCGパース、プレゼン資料など多様なデータを扱う設計者には、その利点が直感的に伝わるはずだ^[3]。描写性能は、建築表現に求められる精度を追求。全4色顔料インクにより線の細部やトーンの差異を正確に再現する^[4]。本体デザインは「水平・垂直」の構成を基調とし、仕事場に自然に溶け込む造形に仕上げている^[5]。建築の思考と美意識に寄り添う大判プリンターとして、業務効率と表現力の両面から設計者の「日常」を支える。

※ 印刷時間はプリント動作時間に基づく。HPインクジェット普通紙（普通紙）とHP純正インクを使用して、エコノモードがオン状態の高速モードで印刷した場合の数値